

微生物/病理/細胞診 PDF 報告書のご紹介

～電子カルテ連携で院内業務効率化を図りませんか?～

システム管理課

はじめに

最近では、電子カルテの普及に伴い、紙媒体の電子化が進んでいます。そこで、当検査センターでは、平成28年5月より、微生物、病理、細胞診の報告書をPDFにして報告する仕組みを作成し、ご要望の医療機関への展開を開始しました。令和元年10月現在では、81施設の医療機関にPDFでの報告をおこなっています。

今回は、ご報告可能な報告書の種類や、電子カルテとの連携方法についてご紹介します。

1. 微生物、病理、細胞診の結果報告書をPDFでご報告

微生物、病理、細胞診検査は、血液検査とはデータの構造が異なるため、電子データとして結果を報告するのが難しい検査です。そのため、電子カルテでこれらの検査結果を確認したい場合は、報告書をスキャナでPDFにして保存するという作業が発生していました。

そこで、当検査センターでは、紙の報告書の内容をそのままPDFにし、インターネット経由で報告する仕組みを構築しました。

2. PDF 報告書の種類

(1) PDF 報告書イメージ - 微生物分野 -

①微生物学的検査報告書

微生物学的検査報告書

最終報告書 報告日 17/04/08

検査科 内科 入院 検査日 17/04/01

患者氏名 田中 太郎 性別 男 年齢 92才

検査材料 痰 検査結果 陽性

Geckler分類 グループ5

1	<10	>20
2	10 ~ 20	>25
3	>20	>25
4	>25	10 ~ 25
5	>25	<10
6	<25	<25

②抗酸菌検査報告書

抗酸菌検査報告書

最終報告書 報告日 17/04/08

検査科 内科 入院 検査日 17/02/12

患者氏名 田中 太郎 性別 男 年齢 92才

検査材料 痰 検査結果 陽性

Geckler分類 グループ5

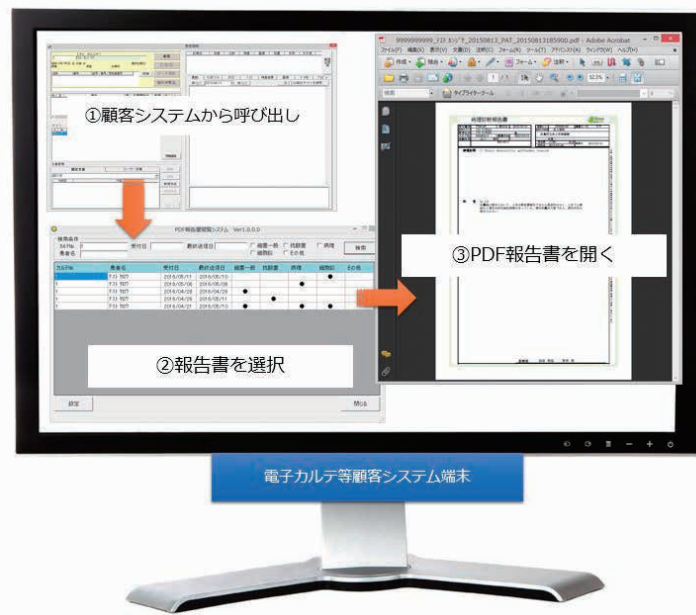
分離培養検査 抗酸菌を認める

同定検査 Mycobacterium avium

薬剤	濃度 (μg/mL)	S-感受性	R-感受性	判定	薬剤	濃度 (μg/mL)	S-感受性	R-感受性	判定
RFP	40	S	EB	2.5	R	CS	30	S	
SM	10	S	EVM	20	S	TH	20	R	
INH	0.2	R	PZA	100	R	INH	1.0	R	
KM	20	S	PAS	0.5	R				

※「微生物学的検査報告書(検診)」、「微生物学的検査一覧報告書(検診)」はPDF報告対象ではありません。

＜電子カルテ連携イメージ＞



電子カルテから『PDF 報告書閲覧システム』を呼び出すと、患者が絞りこまれた状態で『PDF 報告書閲覧システム』が起動します。閲覧したい患者の報告書を選択すると、PDF 報告書が開きます。

＜連携実績＞

Hi-SEED(日立ヘルスケアシステムズ株式会社)
 Medicom(PHC メディコムネットワークス株式会社)
 BrainBox(株式会社湯山製作所)

(2) 電子カルテに PDF 報告書を取込む

ご利用の電子カルテで PDF ファイルの取込が可能な場合は、電子カルテの取込形式に合わせた PDF 報告書の報告をおこなっています。

※ PDF ファイルの取込形式は電子カルテによって異なりますので、事前に当検査センターのシステム管理課までご相談ください。

＜連携実績＞

MRN(株式会社 EM システムズ)
 M3 DigiKar(エムスリーデジタル株式会社)
 MOMACE(株式会社エム・オー・エム・テクノロジー)
 MI・RA・Is(株式会社シーエスアイ)
 他

4. PDF 報告書の配信タイミング

インターネット経由でPDF報告書を受信する場合は、当検査センターの専用ソフト『PandoraClient2』を使用します。1日に3回の配信タイミングがあり、集配営業係員がお届けする紙の報告書よりも早く結果を確認することが可能です。

なお、『PDF報告書閲覧システム』をご利用の場合は、PDF報告書は自動的に取り込みがおこなわれるため、取り込み作業は不要です。

配信時間	微生物	細胞診	病理
10:30	当日昼 お届け分	当日昼 お届け分	—
11:30	—	—	当日昼 お届け分
16:00	当日夕方 お届け分	当日夕方 お届け分	当日夕方 お届け分

※上記の時間は変更する場合があります。

※インターネット環境がない場合は、USBメモリ(1日1回)でお届けしています。

おわりに

今回ご紹介した微生物、病理、細胞診の報告書をPDFにして報告する仕組みは、平成28年5月の導入から数度の改良を加えて、紙の報告書と同様の様式での報告が可能になりました。先生方からは、これまで紙報告書をスキャンしていた手間が省けるようになった、紙の報告書と同じレイアウトなのでわかりやすい、システム上で管理できて結果の検索が容易になったなど、ご好評いただいております。これからも、先生方の診療スタイルに沿った院内環境のシステム化に貢献できるよう努力してまいります。

今回ご紹介した内容に興味を持たれた先生方からのお問い合わせをお待ちしております。

(お問い合わせ窓口)

一般社団法人広島市医師会 臨床検査センター

システム管理課まで TEL: 082-247-7198 (直通)

担当: 田中 一平 (システム管理課 主任)
山口 知美 (システム管理課)

*ウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>